

KÄRCHER

ケルヒャー業務用床洗浄機

B 250 R 取扱説明書



この度はケルヒャー商品をお買いあげいただき誠にありがとうございました。
ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき安全に正しくご使用ください。
お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

B 250 R
202502

◆もくじ

仕様	3
使用上のご注意	4～8
パレットから降ろす	9
各部名称	10～13
充電	14～17
シート・ハンドル	18
スクイジー	19
ブラシ	20
準備	21～23
基本操作	24
緊急停止	25
走行	26
作業モード毎の表示	27～35
イエロー KIK キー	36～37
メンテナンスカウンター	38～41
制御ユニットバージョンの表示 / 機械の表示 / 設定の終了	42
グレー KIK キー	43～51
メンテナンス	52～59
トラブル対応	60～62
お問合せ先	63
ユーザー登録・保証	64
修理	65
補修部品	66

仕様

B 250 R 仕様一覧		
バッテリー	バッテリー電圧	DC 36V
	バッテリー容量	630 Ah/5h
	充電時間	10~12 h
モーター出力	走行モーター	1600 W
	バキュームモーター	840 W
	ブラシモーター	1100 W ×2
登坂能力		max 8 %
走行速度		0~6 Km/h
清掃能力		6000 m ² /h
清掃幅		1200 mm
給水温度		max 60 °C
ブラシ	ブラシ寸法	1200 mm×130φ
	回転数	1250 rpm
タンク	清水タンク	250 L
	汚水タンク	250 L
タービン	風量	28 L/s
	吸引圧力	140 hPa
使用環境	温度	5~40 °C
幅×長さ×高さ		1260×1900×1550 mm
質量 (バッテリー含む)		1520Kg
騒音値 : L _{pA}		73 dB(A)

積載されたバッテリーは満充電されていません。
使用する前に充電作業を行ってください。

- 充電は約 10 時間~12 時間要します。

使用上のご注意

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをおこなった場合「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをおこなった場合「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容」を示しています。



この記号は「気をつけてほしいこと（注意）」を示します。



この記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



ご使用時の警告



子供には触らせないこと
けがをする場合があります。

本体、電源プラグに水をかけないこと
感電する場合があります。

ぬれた手で電源プラグを触らないこと
感電する場合があります。

改造禁止

火災、感電、けがの原因になります。

ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を使用
しないでください。

機能を十分に発揮しない場合が生じ、思わぬ事故のもとになることが
あります。

危険物や火気のある場所で使用しないこと
火災の原因となります。

危険物を洗剤や水の代わりに使用しないこと

灯油、ガソリン、オイル、ワックス、塗料などの油性の液体を洗剤
や水の代わりに注入しないでください。

火災になるおそれがあります。



汚染された可能性のある場所を洗剤する場合、マスクなどの
適切な防護具を身に着けること
汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。



ご使用時の注意点



担当者以外作業をしないこと
誤動作によりけがや事故の発生する場合があります。

8%以上の坂で使用しないこと
ブレーキの利きが著しく悪化します。

発泡洗浄剤は使用しないこと
汚水を回収できなくなります。



設定を変更する場合は安全な場所で行なうこと
平坦な周りに人がいない場所で行なってください。

作業実施前にブレーキの動作確認を行なうこと
低速走行を行いブレーキの作動を確認した後作業を行なってください。

走行を変更する場合は完全停止すること
走行モーターが損傷する場合があります。

フットブレーキを使用すること
電磁ブレーキのみの使用は事故を誘因します。

純正洗浄剤を使用すること
十分な洗浄能力を発揮しない場合があります。

パッド、ブラシの調整について
ソフト系のパッド、ブラシについて
面圧は0～1で使用すること
パッド、ブラシがつぶれブラシヘッドが床を傷つけます。

パッドの枚数について
パッドは適正枚数をセットすること
パッドがつぶれブラシヘッドが床を傷つけます。

フィルターは常に清掃・乾燥させること
吸引力が低下します。

作業終了後汚水を捨てること
異臭発生の原因になります。

保管する場合は鍵を抜くこと
安全確保のため必ず鍵を抜いてください。



バッテリーに関する警告



バッテリーを短絡させないこと
短絡させた場合、爆発する危険性があります。

バッテリーに水をかけないこと
引火爆発の原因となります。

バッテリーに衝撃を与えないこと
内部充填液が衣服、皮膚、目に付着した場合、損傷、火傷、失明の原因となります。

充電器を床に置かないこと
充電器が粉塵・湿度により損傷する場合があります。
1 m以上高い台の上に置くか壁面に取り付けてください。

充電中は火気厳禁
充電中はバッテリーからガスが発生し、引火爆発を生じる恐れがあります。

危険物のある場所で充電しないこと
引火爆発する場合があります。

バッテリー補充液以外使用しないこと
水道水の使用はバッテリー寿命が著しく低下します。



接続ケーブルは確実に取り付けること
ゆるい場合短絡し、引火爆発の原因となります。

充電作業は強制換気装置のある場所で行なうこと
充電中はバッテリーからガスが発生し引火爆発を生じる恐れがあります。

バッテリー液を毎日確認すること
バッテリー液が極板より少なくなった場合、引火爆発の原因となるとともに寿命も著しく低下します。

バッテリー液を確認する場合は保護具を身に付けること
バッテリー液が飛散した場合危険が伴います。
皮膚・衣服に付着した場合は流水ですすいでください。

バッテリー表面は常に綺麗にすること
バッテリー表面がぬれているもしくは汚れている場合は綿のウエスで拭き綺麗な状態にしてください。感電、爆発の危険があります。



バッテリーに関する注意



完全放電しないこと
充電回数が低下します。

充電中は接続プラグを抜かないこと
バッテリーの寿命を縮める場合があります。

充電中は充電器の電源を切らないこと
バッテリーの寿命を縮める場合があります。



専用充電器を使用すること
専用充電器以外で充電した場合バッテリーの寿命を著しく低下させます。

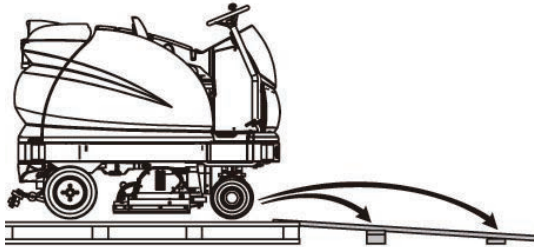
インジケータランプが黄色になってから充電を行なうこと
黄色になる前に充電作業を実施した場合、過充電になりバッテリーの寿命を著しく低下させます。

長期保管時は充電すること
1ヶ月以上使用しない場合は毎月1度必ず充電してください。
バッテリーは使用しない状態で保管した場合、約3か月で完全放電し
バッテリー寿命が著しく低下します。

パレットから降ろす



ケガをしないように作業用手袋を着用しましょう！



＜準備＞

パレット前方の釣具を取り除いてください。
パレットに組み込まれている歩み板を取り外し
パレット前方へ固定してください。
歩み板は釘で固定し短い余り板を板の下に重ね
強度を上げてください。
タイヤの前後にある留め木を取り除いてください。

＜パレットから本体を移動させる＞

傾斜路からの移動

ハンドルを上へアジャストしてください。

シート後部を持ち上げステーで固定されたことを確認してください。

シート裏側の電源プラグを差し込んでください。

シートを元に戻してください。

ハンドル操作が最も行ないやすい位置に合わせてください。

非常停止スイッチの赤い部分を回し解除してください。

メインスイッチを ON にしてください。

ブラシヘッドを持ち上げる為にスイッチを押します。

ブラシヘッドの下部の梱包材を外します。

ハンドルをまっすぐにしてください。

走行スイッチを入れてください。

アクセル操作を行ないゆっくりと前進させながら歩み板を走行してください。

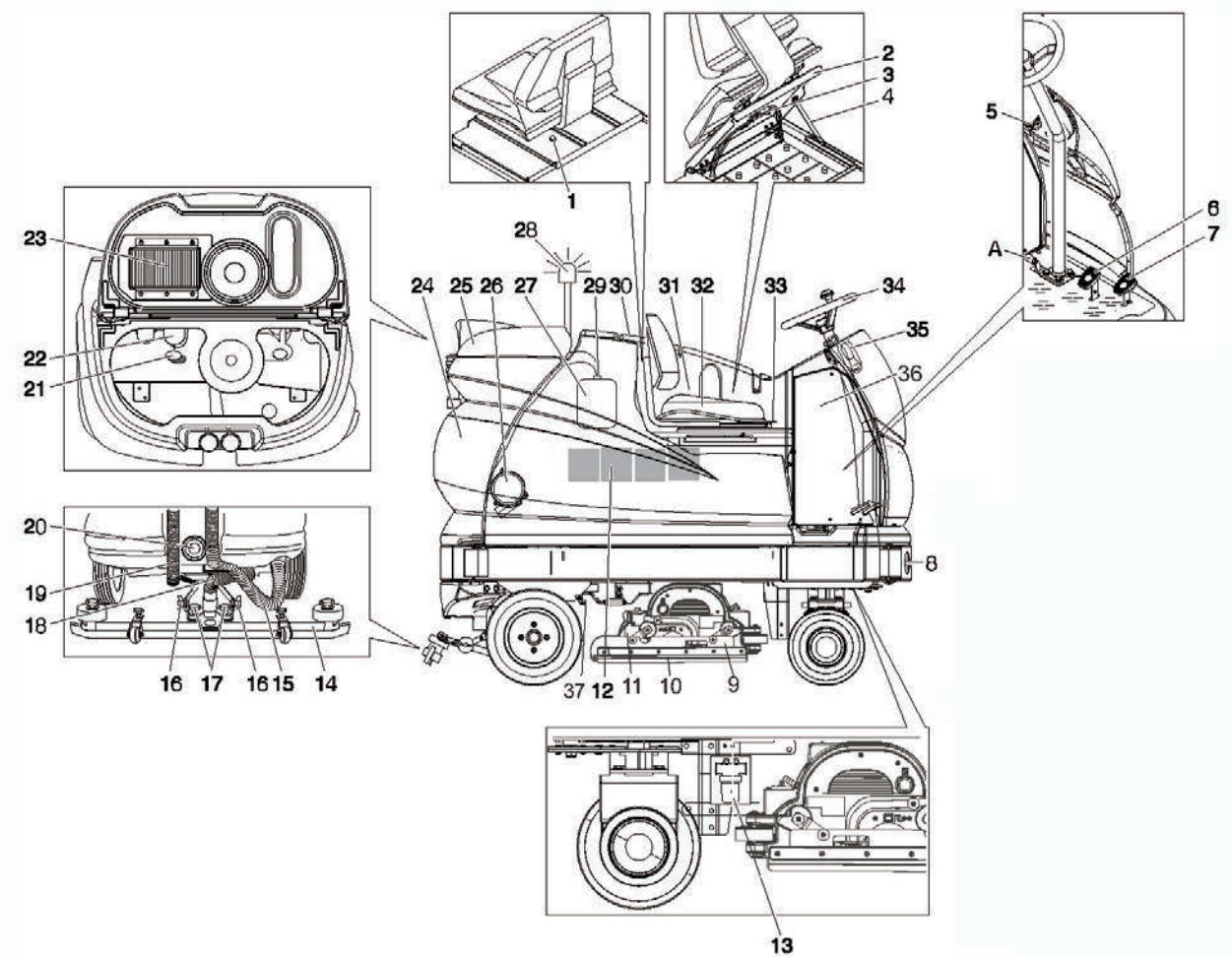
移動後、メインスイッチを OFF にしてください。

機械を作動させる前に、バッテリーを充電してください。

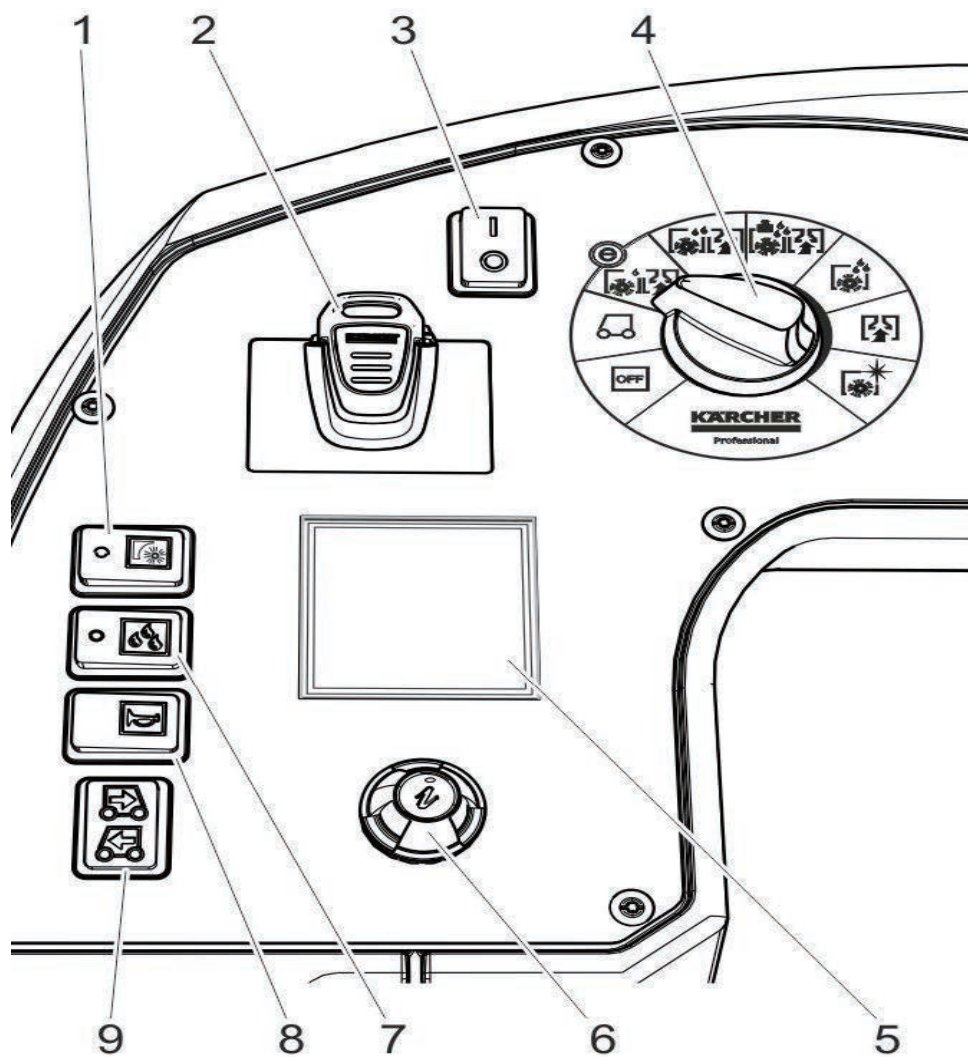
充電は専用充電器を使用してください。

充電作業は平坦な場所で行なってください。

各部名称



- | | | | |
|----|----------------|----|-------------------|
| 1 | シートストッパー | 21 | リサイクルフィルター（オプション） |
| 2 | シートブラケット | 22 | フロート |
| 3 | バッテリープラグ | 23 | フィルター |
| 4 | シートステー | 24 | 汚水タンク |
| 5 | ハンドルチルト | 25 | 汚水タンクカバー |
| 6 | ブレーキ | 26 | バキュームモーター |
| 7 | アクセル | 27 | 洗剤タンク |
| 8 | 作業灯（オプション） | 28 | 回転灯（オプション） |
| 9 | ブラシヘッド | 29 | 洗浄剤吸引ホース |
| 10 | サイドリップ | 30 | 清水タンクカバー |
| 11 | スパータンク（細かなゴミ用） | 31 | リサイクル切替レバー（オプション） |
| 12 | バッテリー | 32 | シート |
| 13 | フィルター | 33 | シート調整レバー |
| 14 | スクイジー | 34 | ハンドル |
| 15 | 排水ホース（汚水） | 35 | 給水口 |
| 16 | 角度調整ネジ | 36 | 制御基盤 |
| 17 | 固定ネジ | | |
| 18 | 吸引ホース | | |
| 19 | 排水ホース（清水） | | |
| 20 | 汚水タンク用排水口 | | |



- 1 サイドブラシ ON/OFF スイッチ (オプション)
- 2 KIK キー
イエロー：作業用
グレー：管理者用
- 3 メインスイッチ (緊急停止スイッチ)
I 作動準備 OK
O 停止
- 4 プログラムスイッチ
- 5 ディスプレー
- 6 メニューボタン
- 7 清水・洗剤吐出ボタン
- 8 ホーン
- 9 走行切替スイッチ

メインスイッチ（緊急停止スイッチ）
本体の電源 ON/OFF

プログラムスイッチ
洗浄モードを簡単設定
（各洗浄モード毎にプログラムを個別設定）

ディスプレイ
グレーキーを挿入した場合
メニューボタンを操作することにより各設定を変更することができます。

ディスプレイの色

KIKキー/色	バックライト/色
イエロー	イエロー
グレー	ホワイト
レッド	オレンジ
エラー表示	レッド



< KIK キーシステム >

イエロー KIK キー 作業者用 5.035-344.0

グレー KIK キー 管理者用 5.035-348.0

< 注意 >





複数の KIK キーを重ねて使用しないでください。
KIK キーの認識エラーが生じます。



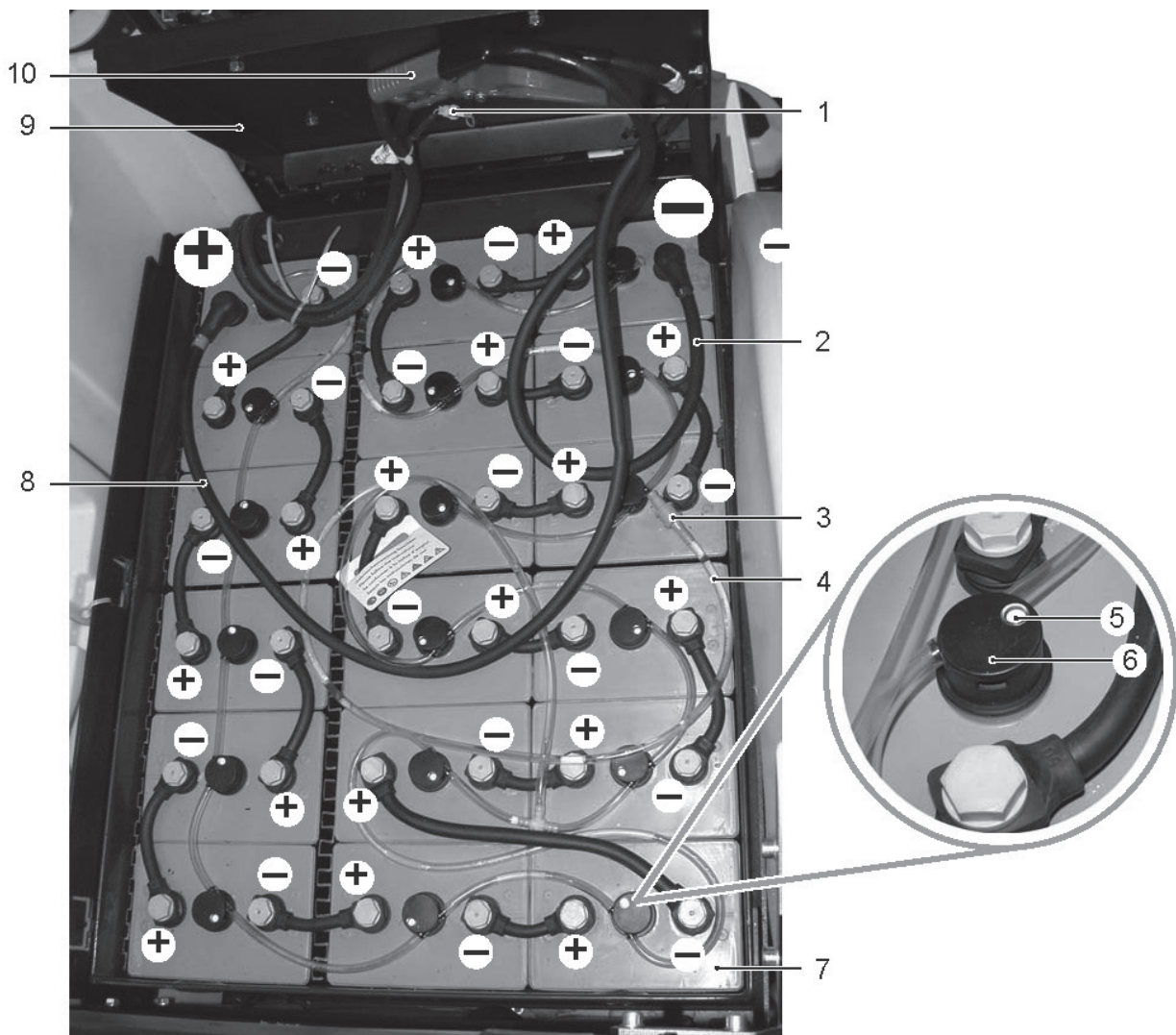
プログラムスイッチを選択してください。

- 1 OFF
- 2 走行モード
Transport Mode
- 3 ECOモード
(低速回転洗浄・吸引モード)
Eco Mode
- 4 清掃モード
(高速回転洗浄・吸引モード)
Normal Mode
- 5 パワーモード (ブラシ圧力)
Heavy Mode
- 6 洗浄モード
Scrubbing Mode
- 7 吸引モード
Vacuuming Mode
- 8 磨きモード
Polishing Mode

現場の状況に合わせてプログラムスイッチを操作してください。

	<p>洗浄モードの選択プログラム選択スイッチを回しおこないます。</p>	
	<p><注意> 洗浄モード毎に 個別設定が行えます。 洗浄メニュー毎に設定できる項目が異なります。</p>	
		<p>メニューボタンの操作により様々な個別設定が行えます。</p>
		<p>パラメータを選ぶために、メニューボタンを回転させます。 選択を確定するためにメニューボタンを押します。</p>

充電



- | | |
|------------------|----------------|
| 1 シートスイッチ | 6 バルブ |
| 2 バッテリー側 マイナス端子 | 7 バッテリー |
| 3 給水コネクター | 8 バッテリー側 プラス端子 |
| 4 給水ホースライン | 9 カバー |
| 5 バッテリー液 インジケーター | 10 接続プラグ |

<注意>

- 充電時間は 10～12時間かかります。
- バッテリー補充液以外使用しないこと
水道水の使用はバッテリー寿命が著しく低下します。
- 充電前、終了後に補水を毎回行なうこと
補水を怠った場合バッテリーの寿命が著しく低下します。

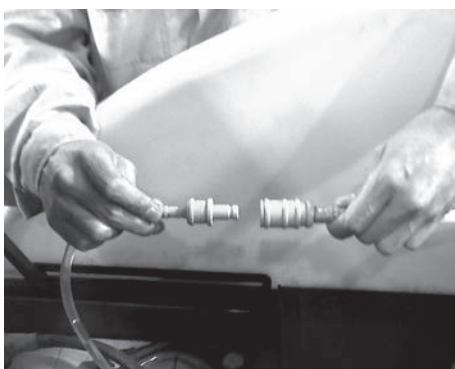


<バッテリーの補水>

補水タンクに蒸留水を入れてください。

補水タンクの位置はバッテリーより高い位置に置いてください。

※補水タンクは仕様変更により、形状が違う場合があります。



バッテリーカプラーと補水タンクカプラーを接続してください。



補水タンクのカプラーを開けてください。



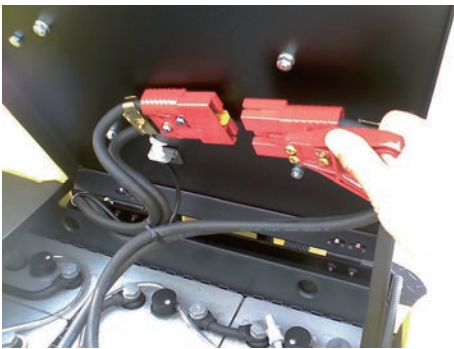
自動的に各バッテリーへ均等に補水が行なわれます。

プロペラが停止した後接続カプラーを取り外してください。



キースイッチを抜いてください。

シートを持ち上げバッテリーコネクタを引き抜いてください。

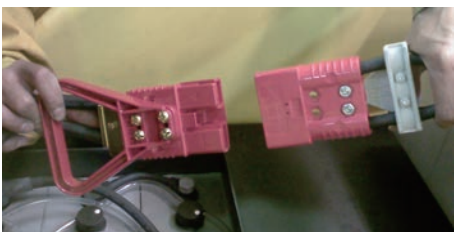


コネクタを引き抜いてください。



充電器を用意し電源へ接続してください。

電源ランプが点灯した場合はスイッチを切ってください。



充電器側のコネクタとバッテリー側コネクタをしっかりと接続してください。

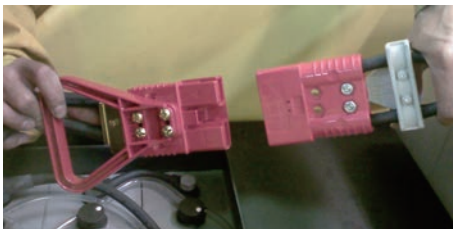


スイッチを入れてください。

充電ランプが点灯します。

充電異常ランプが点灯した場合
接続プラグの状態を確認してください。

満充電まで約 10 時間～12 時間必要です。
満充電完了後 自動停止します。

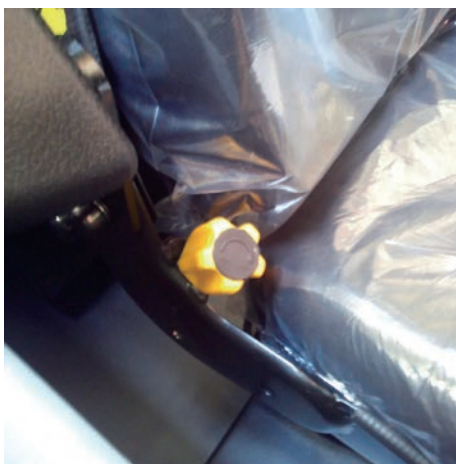


充電器のスイッチを切ってください。
充電器側接続プラグとバッテリー側接続プラグを取り
外してください。



バッテリー側接続プラグを本体側接続プラグに取り付
けてください。

シート・ハンドル



＜背もたれの調整＞
ノブを回すと角度調整ができます。

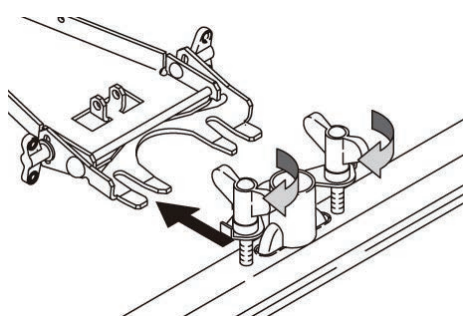


＜シートの前後調整＞
レバーを外側に押した状態でシートを前後にスライド
することができます。



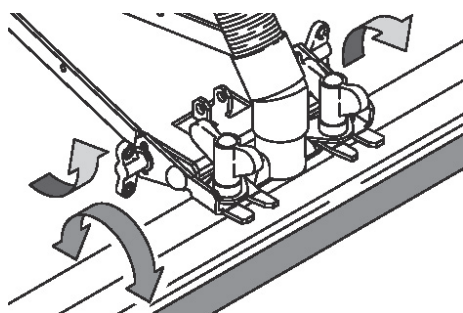
＜ハンドルの調整＞
ハンドル下部のねじを緩め前後に倒すことができます。

スクイジー

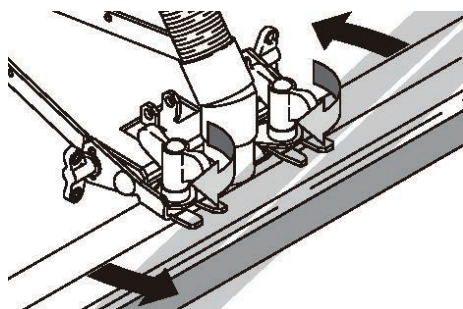


<取り付け>

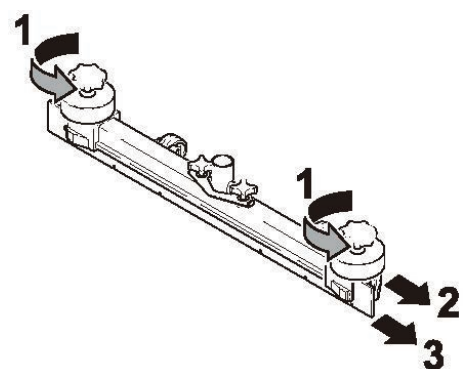
スクイジーをはめ込みます。
この際に取り付け金具がくの字型の金具の下に来るようにしてください。
2個の星型つまみを回ししっかりと固定してください。
サクションホースを取り付けてください。



吸引ノズルの傾きを調整してください。



スクイジーの進行方向に対する傾きを調節してください。
目地のある床を洗浄する場合は傾けて取り付けます。
スクイジーの撥ね上りを抑制することができます。

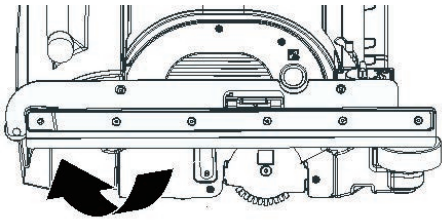


<吸い込みが悪い場合>

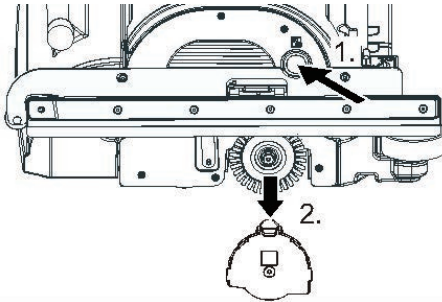
スクイジーゴムの劣化、損傷が生じています。
スクイジーは上下4面が使用できます。

- 1 スクリュー（1）を取り外します。
- 2 両サイドのプロテクター（2）を抜き取ります。
- 3 スクイジーゴムを引き抜いてください。
- 4 スクイジーのスクイジーゴム挿入部位のゴミを取り除いてください。
- 5 スクイジーゴムの挿入部に石鹼水にぬり滑りを良くした状態でスクイジーゴムを取り付けてください。
- 6 プロテクター（2）を両側に取り付けてください。
- 7 スクリュー（1）で固定してください。
- 8 本体に取り付けてください。

ブラシ

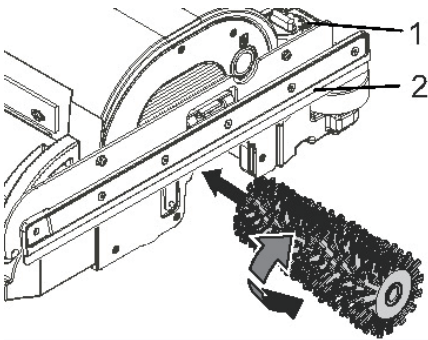


サイドリップを持ち上げてください。



ボタンを押してください。
カバーのロックが解除され外れます。
反対側のローラーブラシも同じ作業で取り外してください。

- 1 ボタン
- 2 カバー



新しいブラシを挿入してください。
カバーを取り付けてください。
調整ノブを回しサイドリップの接地を調整してください。

- 1 サイドリップ調整ノブ
- 2 サイドリップ



ブラシの装着はスイッチを入れる前に行なってください。
ブラシの選択を間違えた場合床材を傷める場合があります。
作業前に必ずテストを実施してください。

最低圧から徐々に調整してください。
パッド、ブラシがつぶれ床を傷つける場合があります。
ソフト系のパッド、ブラシは面圧は0～1で使用してください。
パッドの枚数は適正枚数を装着してください。

準備



<給水>

給水カバーを開けてください。



給水カップリングを確認してください。



給水ホースを接続し水道栓を開けてください。
満水になると自動的に給水が停止します。



シート横の点検マドでタンク内部を確認してください。
ゴミ・藻がある場合は流水ですすいでください。



<フィルター>

汚水タンクカバーを開けてください。
フィルターに詰まりや損傷がある場合は交換してください。
フィルターが湿っている場合は乾かしてください。

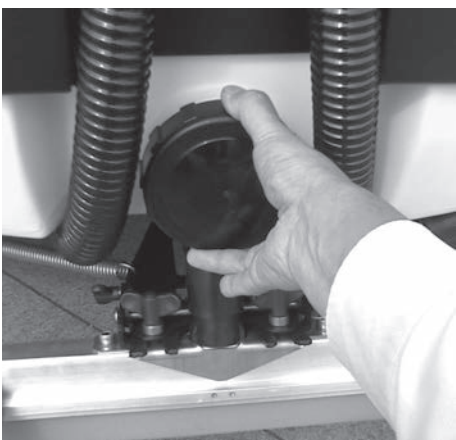


<排水>

排水ホースをホルダーから取り外しキャップを開け排水してください。

左側排水ホース：清水用
右側排水ホース：汚水用

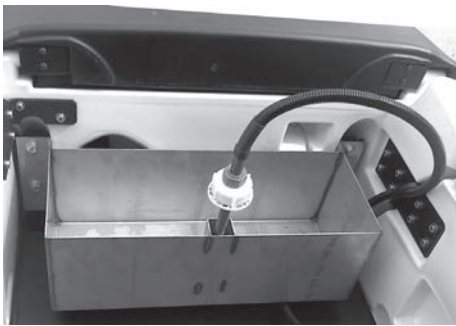
排水後必ずホース先端のキャップを閉めてください。
キャップが浮いている場合吸引力が低下します。



<汚水タンクに汚泥が溜まった場合>
下部に排水口があります。



排水口を開け流水で洗い流してください。



<洗浄剤>

シート後部のケースに洗浄剤タンク（10L）を2個収納できます。



洗浄剤タンクを搭載し吸引パイプを取り付けてください。
洗浄剤は自動的に設定濃度に調整されます。

基本操作



ハンドルにノブが装着されています。



敏速にハンドル操作を行うことができます。



<ペダル>

ペダル ① ブレーキ

ペダル ② アクセル

停止する場合

ブレーキを必ず併用してください。

急な坂道を下る場合

ブレーキを必ず併用してください。

<注意>

走行輪に組み込まれている電磁ブレーキのみ停止した場合消耗が著しくなり電磁ブレーキが利かなくなります。

緊急停止



作動中にトラブルが発生した場合
メインスイッチ（非常停止スイッチ）“O”側を押してください。

全ての動作を緊急停止させることができます。



解除方法
プログラムスイッチを“OFF”にし、メインスイッチ（非常停止スイッチ）“I”
側に押してください。

走行



プログラムスイッチを走行モードにしてください。
その際、アクセルペダルは踏まないでください。
エラーが生じます。



走行切替スイッチで前、後進を選んでください。



前進します。



後進します。



走行

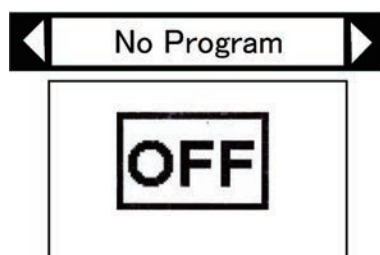
アクセルペダルを踏み込むと走行します。

減速・停止

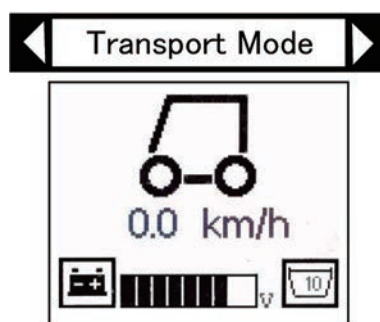
アクセルを放すと同時にブレーキを踏み込み
減速・停止させてください。

- ① ブレーキペダル
- ② アクセルペダル

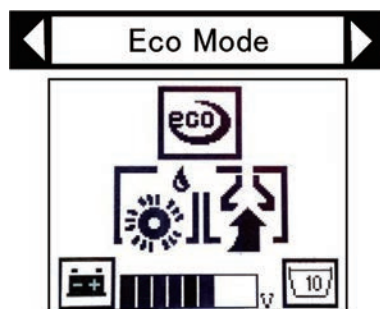
作業モード毎の表示



OFF デバイス停止



走行モード
Transport Mode



Eco Mode
エコモード

プログラム項目

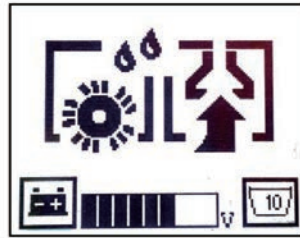
初期プログラム設定

水量の調節	30%
作業スピードの調節	6.0km/h
洗浄剤濃度の調節	0.5%
ブラシ圧力の調節	40%
ブラシ回転モードの調節	whisper
吸引強さの調節	Low
ホーン設定	off
基本設定に戻す	
終了	



◀ Normal Mode ▶

清掃モード
Normal Mode



プログラム項目 初期プログラム設定

水量の調節	50%
作業スピードの調節	4.0km/h
洗浄剤濃度の調節	1.5%
ブラシ圧力の調節	60%
ブラシ回転モードの調節	Power
吸引強さの調節	High
ホーン設定	off
基本設定に戻す	
終了	



◀ Heavy Mode ▶

パワーモード
Heavy Mode



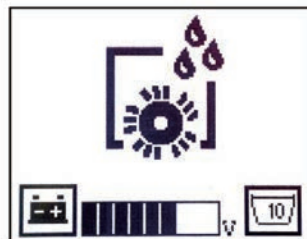
プログラム項目 初期プログラム設定

水量の調節	70%
作業スピードの調節	4.0km/h
洗浄剤濃度の調節	2.5%
ブラシ圧力の調節	80%
ブラシ回転モードの調節	Power
吸引強さの調節	High
ホーン設定	off
基本設定に戻す	
終了	



◀ Scrubbing ▶

洗いモード
Scrubbing Mode



プログラム項目

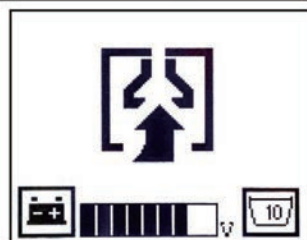
初期プログラム設定

水量の調節 70%
 作業スピードの調節 4.0km/h
 洗浄剤濃度の調節 1.5%
 ブラシ圧力の調節 60%
 ブラシ回転モードの調節 Power
 ホーン設定 off
 基本設定に戻す
 終了



◀ Vacuum ▶

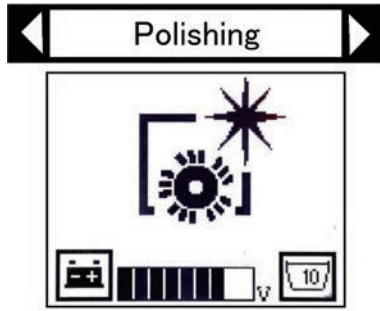
吸引モード
Vacuuming Mode



プログラム項目

初期プログラム設定

作業スピードの調節 4.0km/h
 吸引強さの調節 High
 ホーン設定 off
 基本設定に戻す
 終了



磨きモード
Polishing Mode

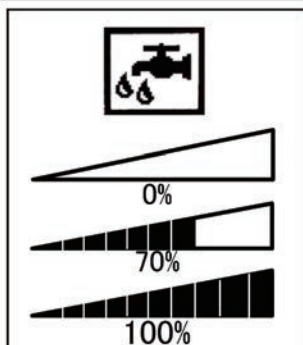
プログラム項目

初期プログラム設定

作業スピードの調節	4.0km/h
ブラシ圧力の調整	30%
ブラシ回転モードの調節	Power
ホーン設定	off
基本設定に戻す	
終了	

作業中に行える設定（グレー KIK キー）

Water Amount



< Water Amount >

作業中の各プログラムごとに個別変更を行うことができます。


水量調整

プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。

メニューボタンを   押してください。

メニューボタンを  回し Water Amount を選んでください。

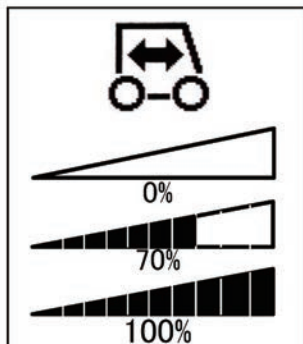
メニューボタンを   押してください。

メニューボタンを  回すと水量を 0～100% の範囲で

調整することができます。

調整終了後メニューボタンを   押してください。

Working Speed



< Working Speed >

作業中の各プログラムごとに個別変更を行うことができます。

作業最高速の調整

プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。



メニューボタンを   押してください。

メニューボタンを  回し Working Speed を選んでください。

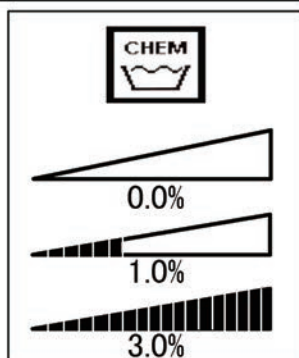
メニューボタンを   押してください。

メニューボタンを  回すと最高速度を 0～100% の範囲

で調整することができます。

調整終了後メニューボタンを   押してください。

Detergent Dosing



< Detergent Dosing >

作業中の各プログラムごとに個別変更を行うことができます。


洗浄剤添加量

プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。

メニューボタンを  押してください。

メニューボタンを  回し洗浄剤添加量を選んでください。

メニューボタンを  押してください。

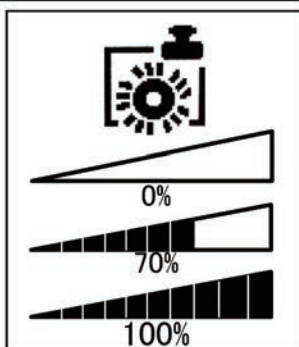
メニューボタンを  回すと洗剤添加量を0～3%の範囲

で(0.5% 刻み) 調整することができます

0 ⇄ 0.5 ⇄ 1.0 ⇄ 1.5 ⇄ 2.0 ⇄ 2.5 ⇄ 3.0

調整終了後メニューボタンを  押してください。

Brush Pressure



< Brush Pressure >

作業中の各プログラムごとに個別変更を行うことができます。

面圧調整

プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。


メニューボタンを  押してください。

メニューボタンを  回しBrush Pressureを選んでください。

メニューボタンを  押してください。

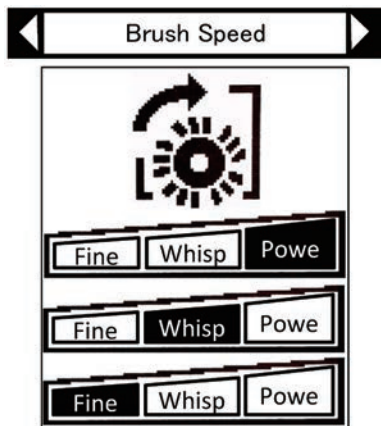
メニューボタンを  回すと面圧を0～100%の範囲

で調整することができます。

調整終了後メニューボタンを  押してください。

<注意>

面圧を高く設定した場合 床面を損傷する場合があります。



< Brush Speed > BRのみ

作業中の各プログラムごとに個別変更を行うことができます。


ブラシスピード (BRのみ)

プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。

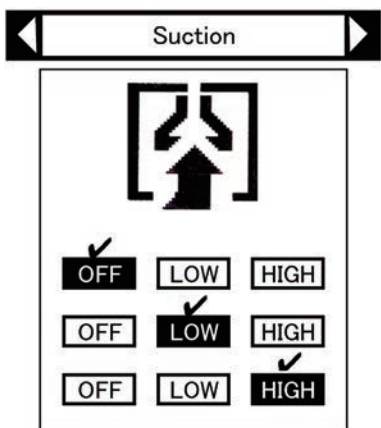
メニューボタンを   押してください。

メニューボタンを  回し Brush Speed を選んでください。

メニューボタンを   押してください。

メニューボタンを  回すと低速 / 中速 / 高速を選べます。

調整終了後メニューボタンを   押してください。



< Suction >

作業中の各プログラムごとに個別変更を行うことができます。

吸引力調整

プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。

メニューボタンを   押してください。

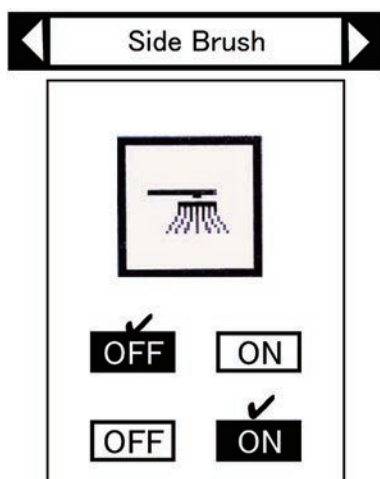
メニューボタンを  回し Suction を選んでください。

メニューボタンを   押してください。

メニューボタンを  回すと停止 / 弱 / 強を選べます。

メニューボタンを回すと吸引力を3段階調整することができます。

調整終了後メニューボタンを   押してください。



< Side Brush >

オプション取付時のみ表示

サイドブラシ作動

プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。

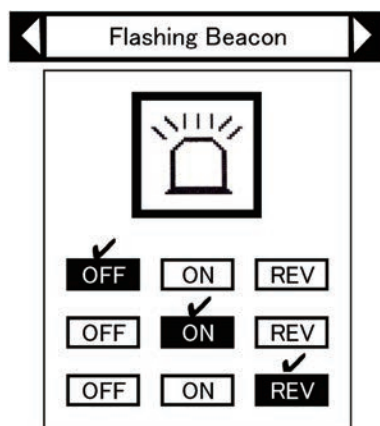
メニューボタンを  押してください。

メニューボタンを  回し Side Brush を選んでください。

メニューボタンを  押してください。

メニューボタンを回すと作動 / 停止をを選べます。

調整終了後メニューボタンを  押してください。



< Flashing Beacon >

オプション取付時のみ表示

回転灯点滅

プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。

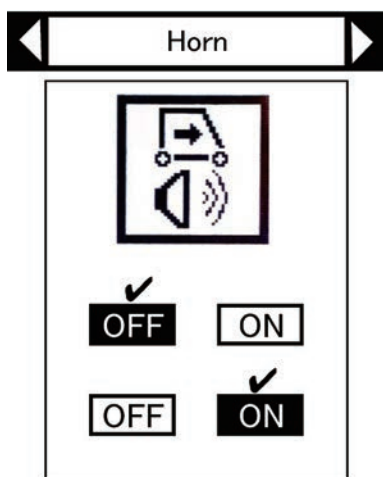
メニューボタンを  押してください。

メニューボタンを  回し Flashing Beaco を選んでください。

メニューボタンを  押してください。

メニューボタンを  回すと停止 / 点滅 / 後退点滅を選べます。

調整終了後メニューボタンを  押してください。



< Horn >

前進アラーム



プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。

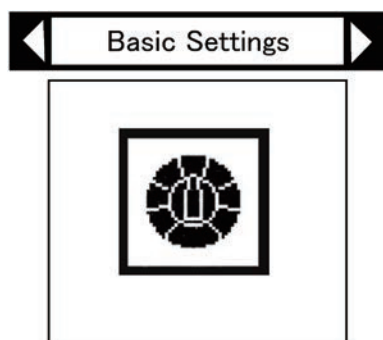
メニューボタンを   押してください。

メニューボタンを  回し Horn を選んでください。

メニューボタンを   押してください。

メニューボタンを  回すと停止 / 作動を選択できます。

調整終了後メニューボタンを   押してください。



< Basic Settings >

初期設定のままの場合表示されます。

NO ACCESS



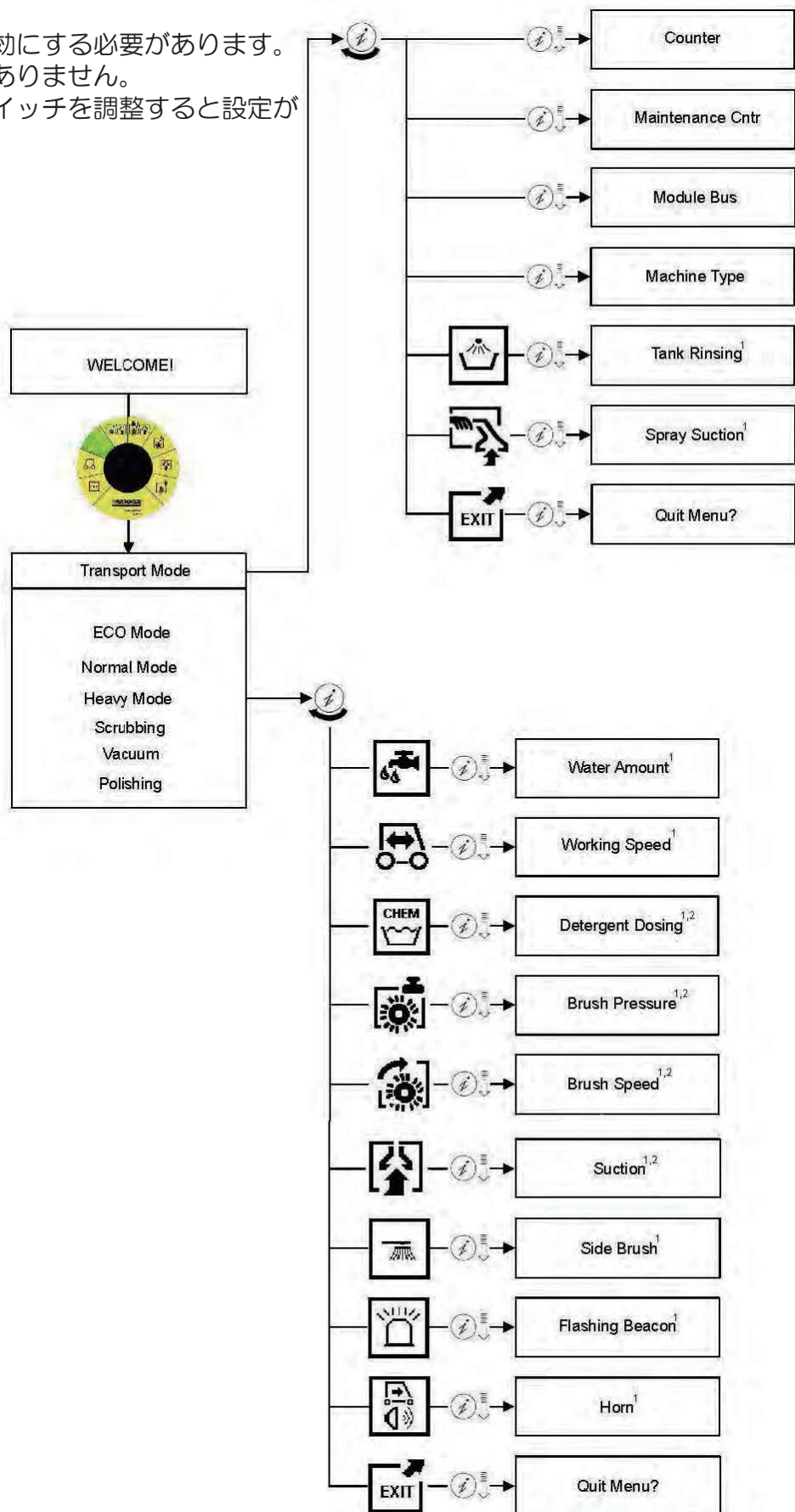
< NO Access >

KIK キーが認識できません。

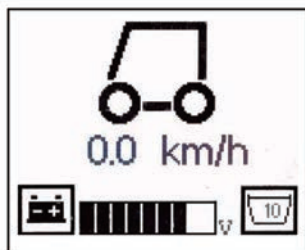
新しいキーを挿入し作動確認を行ってください。

イエロー KIK キー

メニューは、キーメニューで有効にする必要があります。選択は永久的ではありません。プログラム選択スイッチを調整すると設定が失われます。



◀ Transport Mode ▶



< Transport Mode >

メニューボタンを 押してください。

◀ Counter ▶



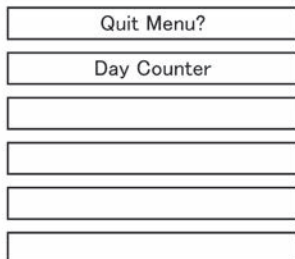
< Counter >

時間が表示されます。

Operation Hours 作動時間
Day Counter 前日の作動時間
Service Counter 整備までの残り時間

メニューボタンを 押してください。

◀ Day Counter? ▶



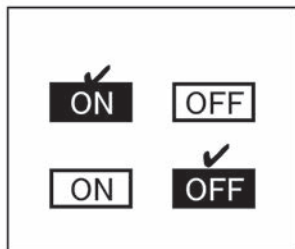
< Day Counter ? >

前日の作業時間を表示

メニューボタンを 押し

メニューボタンを 押してください。

◀ Day Counter? ▶



メニューボタンを 押し

Yes / No を選んでください。

メニューボタンを 押してください。

Yes リセットされます。
No リセットは行われません。

メンテナンスカウンター（Maintenance counter）

Maintenance counter リセット（メンテナンスカウンター）

スイッチを入れるとセルフテストに移行します。

メンテナンスカウンタが作動すると

ディスプレイに“Maintenance XX”というメッセージが表示されます。

このメッセージは〔情報〕ボタンで確認されるまで、セルフテストは完了しません。

作業者は黄色または灰色の KIK キーでメンテナンスカウンタをリセットできます。

情報ボタン「メンテナンス xxx」でメッセージを確認できない場合

⇒ 自己診断を完了できずこの状態では動作しません。

メンテナンスカウンタがリセットされていない場合

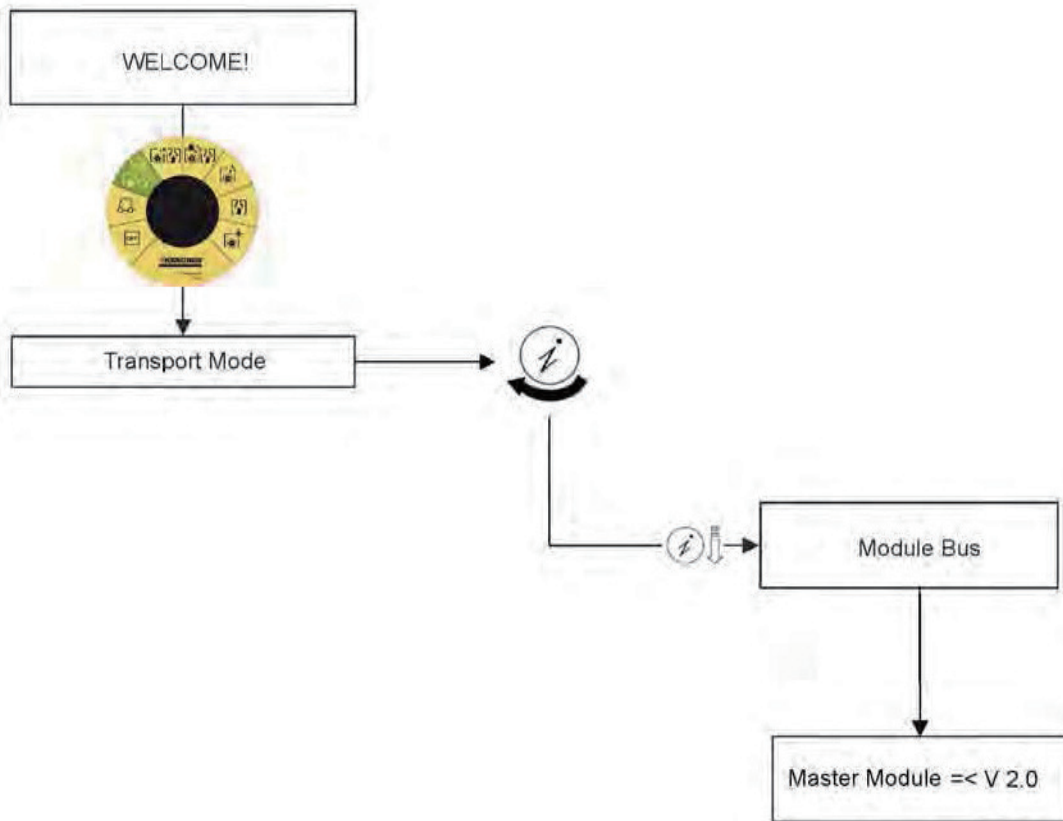
再起動するたびにメッセージが表示されます。

メンテナンスカウンターから、

⇒ I ボタン（回転と確認）でメニューを通過すると、移動モードに移行します。

それぞれのメンテナンスカウンタは

⇒ Erase counter メニューで消去することができます。

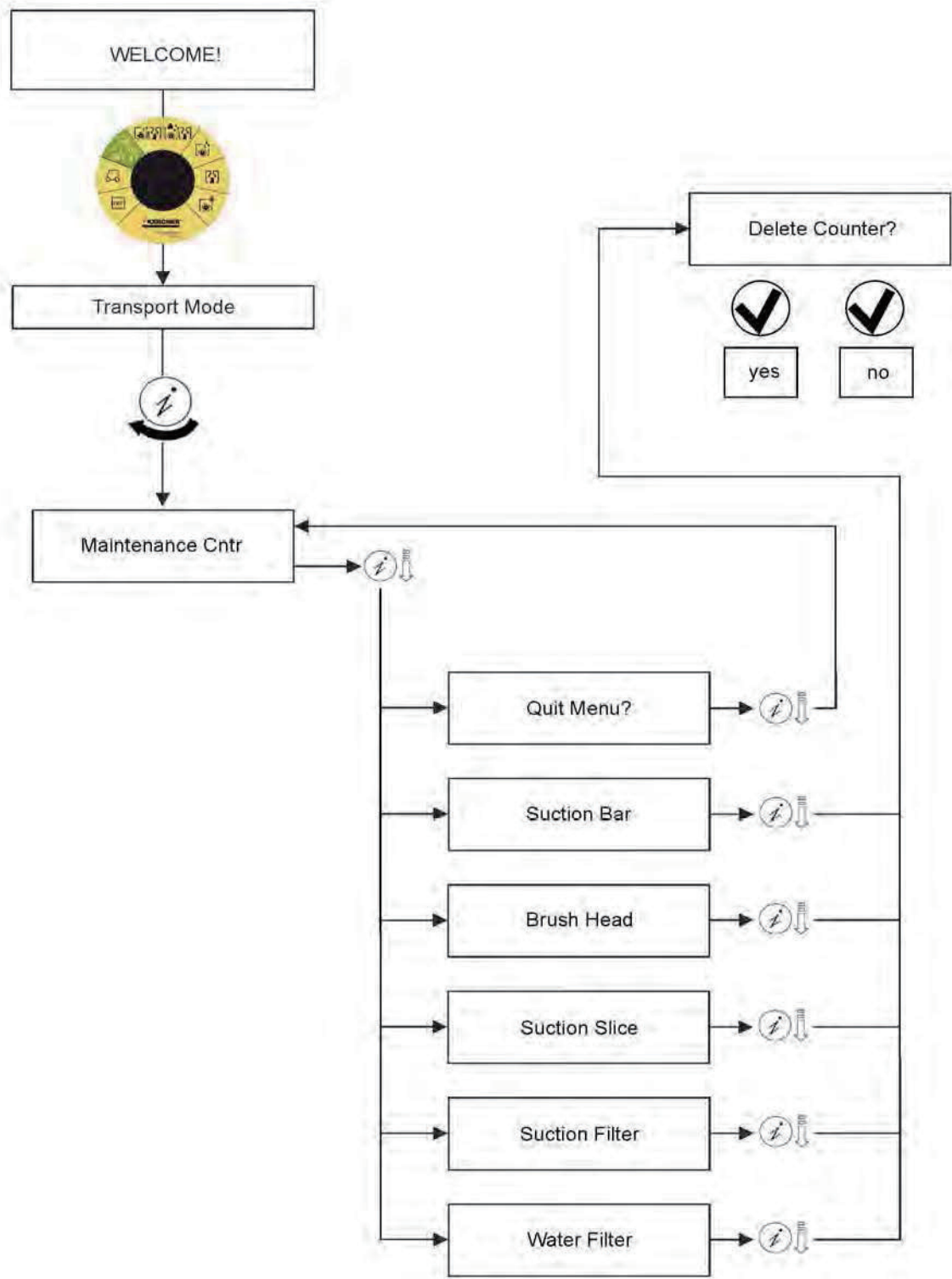


ヘッド CPU ソフトウェアバージョン V2.0 以降

設定時間後にメンテナンス作業を実行するようお客様にメッセージを表示します

- 20 作業時間： **check, clean suction bar**
吸引ノズルの清掃・調整を行ってください。
- 50 作業時間： **clean turbine strainer or replace**
汚水タンク 吸引フィルターの清掃を行ってください。
- 50 作業時間： **clean fresh water filter, check or replace**
清水タンク フィルターの清掃を行ってください。
- 100 作業時間： **clean and check brush head**
ブラシヘッドの清掃を行ってください。
ブラシの摩耗・サイドストリップの調整・交換
- 100 作業時間： **clean and check Suction Slice**
スクイジーの清掃・交換を行ってください。

メンテナンスカウンターのリセット方法



◀ Maintenance Cntr ▶



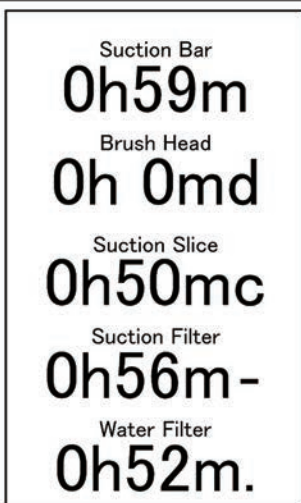
< Maintenance Cntr >

メニューボタンを  回し

Maintenance Cntr を選んでください。

メニューボタンを   押してください。

◀ Maintenance Cntr ▶



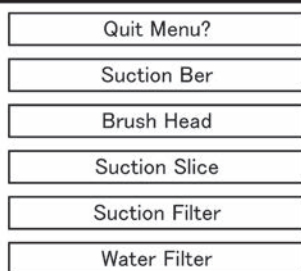
< カウンターの設定 >

点検までの残り時間を表示します。

Suction Bar	スクイジー
Brush Head	ブラシヘッド
Suction Slice	スクイジーゴム
Suction Filter	フィルター
Water Filter	清水フィルター

⇒ 0h56m- : 点検時間を 56 分超過を示します。

◀ Delete Counter? ▶

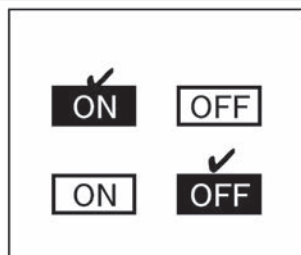


< Delete Counter? >

メニューボタンを   押すとリストが表示されます。

メニューボタンを  回しリセット項目を選んでください。

◀ Delete Counter? ▶





メニューボタンを  回し

Yes / No を選んでください。

メニューボタンを   押してください。

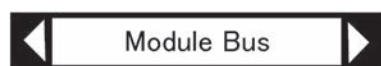
Yes リセットされます。

No リセットは行われません。

リセット後 Quit Meun? を選びメニューボタンを   押す

と Maintenance Cntr から出ることができます。

制御ユニットバージョンの表示 / 機械の表示 / 設定の終了



Kopt CPU V 2.0.0
Traction Module Clonel V2.1
Charging Module Clonel V1.2
Lift Module Clonel V1.0
Cleaning Module Clonel V4.1

< Module Bus >

制御ユニットのバージョン確認（変更操作はできません）

メニューボタンを  回し Module Bus を選んでください。

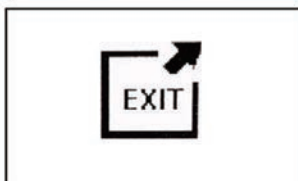


B150R
+497195 14-0
Kaercher-Service
Alfred Kaerch Str. 28-40
71364 Winnenden

< Machine Type >


Machine Type の表示（変更操作はできません）

メニューボタンを  回し Machine Type を選んでください。

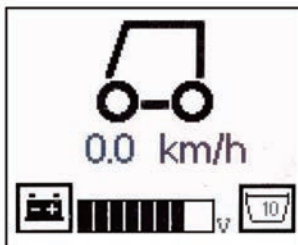


< Quit Meun? >

イエローキーは Quit Meun? へ移行します。

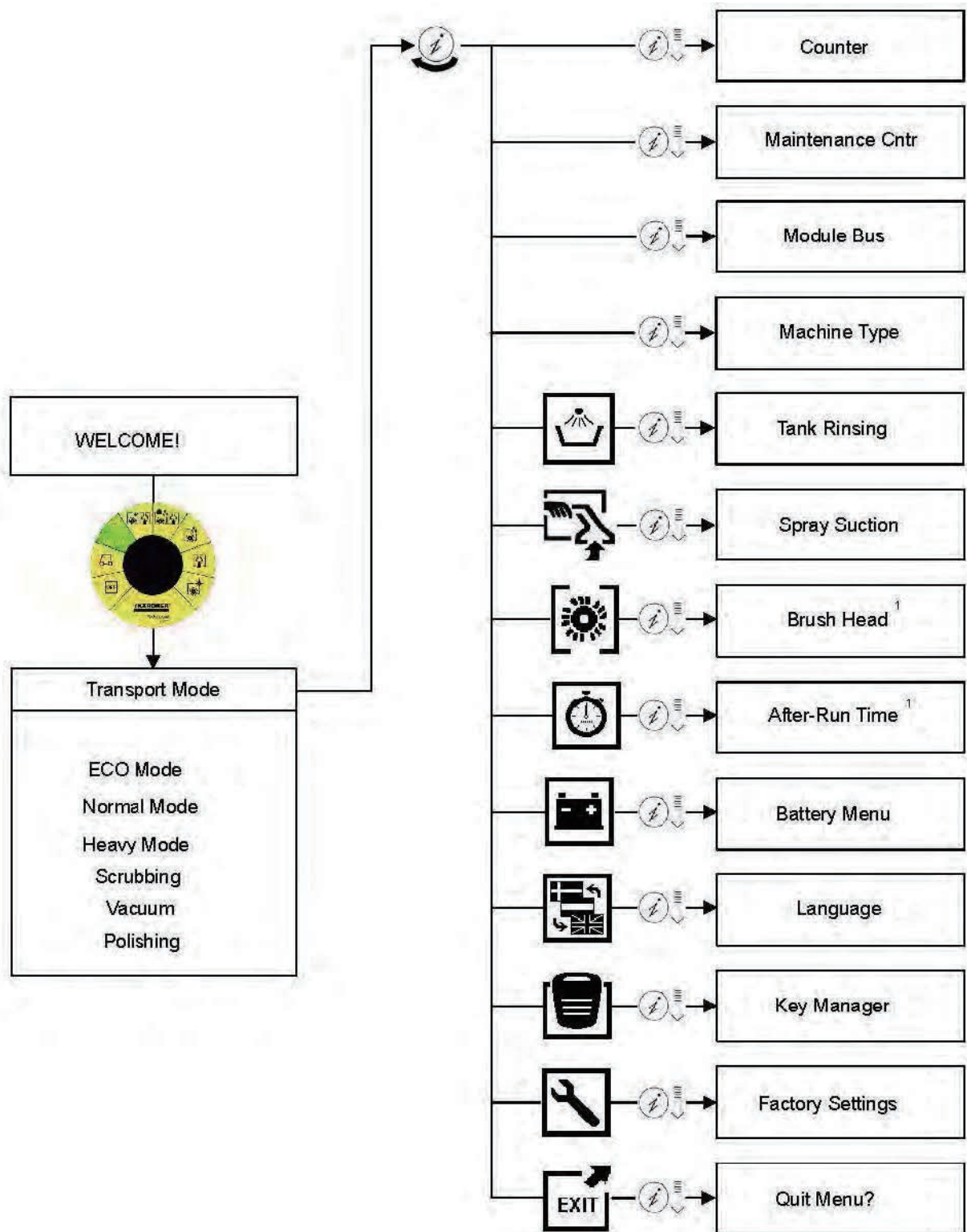
メニューボタンを  押すと Transport Mode へ戻ります。

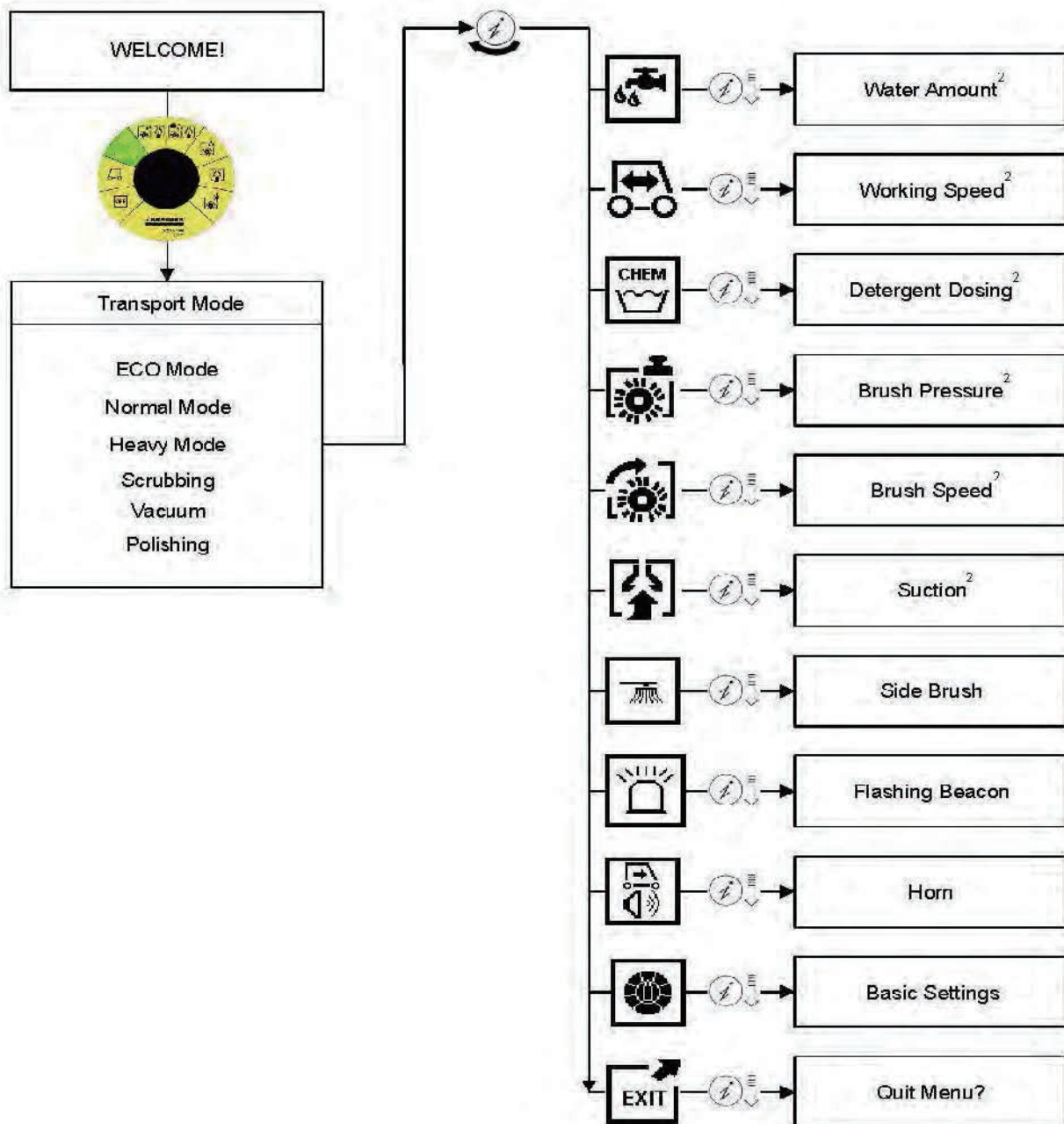
グレー KIK キーは次のメニューへ移行します。



グレー KIK キー

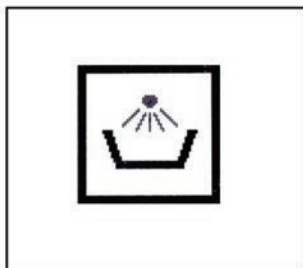
<管理者用の KIK キー>
設定変更など現場に即した設定が行えます。





メニューは、
 キーメニューで有効にする必要があります。
 選択は永久的ではありません。
 プログラム選択スイッチを調整すると設定が
 失われます。

グレーキーの設定



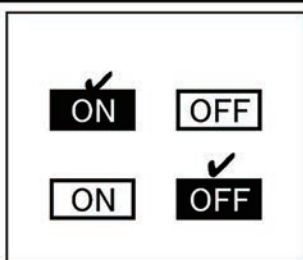
< Tank Rinsing >

未設定の場合は表示されません。

メニューボタンを  回し

Tank Rinsing を選んでください。

メニューボタンを  押ししてください。



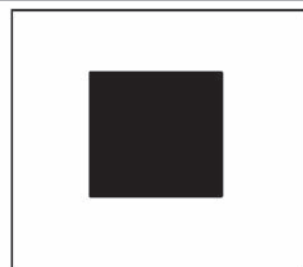
メニューボタンを  回し

Yes / No を選んでください。

メニューボタンを  押ししてください。

Yes 洗浄が行われます。

No メニューから抜けます。



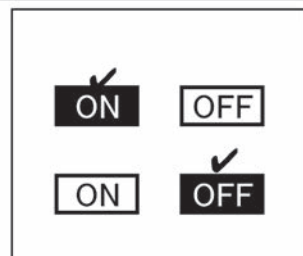
< Spray Suction >

未設定の場合は表示されません。

メニューボタンを  回し

Spray Suction を選んでください。

メニューボタンを  押ししてください。



メニューボタンを  回し

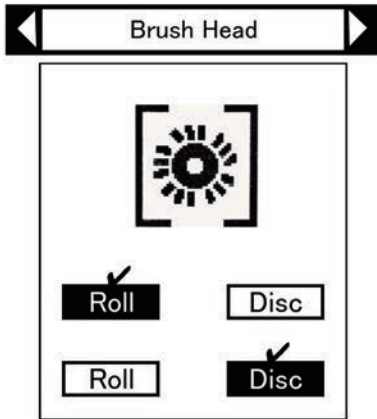
Yes / No を選んでください。

メニューボタンを  押ししてください。

Yes サクションタービンが作動します。

No メニューから抜けます。

ブラシヘッド種類の設定方法



< Brush Head >

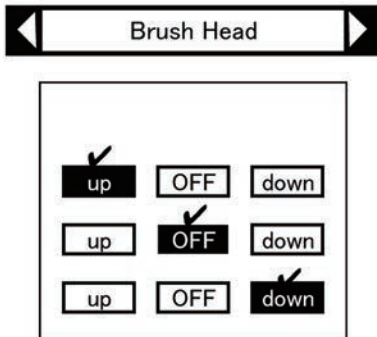
ブラシヘッドの種類を選びます。

メニューボタンを  回し Brush Head 選んでください。

Roll BRヘッド
Disc BDヘッド

メニューボタンを  回してください。

Roll / Disc を選んでください。



< ブラシの昇降 >

メニューボタンを  回し

up / OFF / down を選んでください。

メニューボタンを  押し  を入れてください。

チェックマーク表示後 電源が切れます。

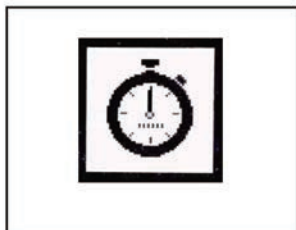


再起動

プログラムスイッチを OFF にした後再度プログラムスイッチを走行モードにし Brush Head が積載ヘッドと同じか確認してください。

遅延時間の設定方法

◀ After - Run Time ▶



< After-Run Time >

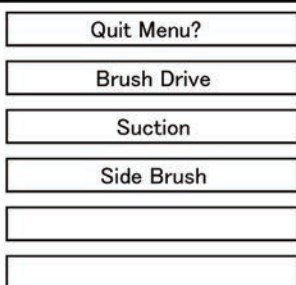
停止後の作動時間を変更することができます。


メニューボタンを  回し

After-Run Time を選んでください。

メニューボタンを  押すとリストが表示されます。

◀ After - Run Time ▶



メニューボタンを  回し変更を行う項目を選んでください。

選んだ項目が点滅します。

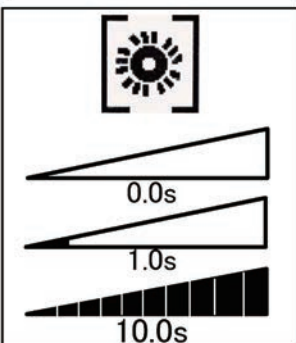
Brush Drive ブラシ作動時間

Suction サクションタービン作動時間

Side Brush グレー KIK キーでは設定できません。

メニューボタンを  押してください。

◀ Brush Head ▶



< Brush Head >

ブラシ作動時間の変更

メニューボタンを  回し時間設定を行ってください。

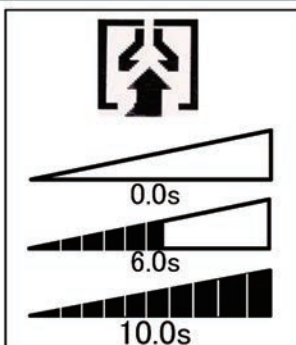
0～10秒の範囲で調整が行えます。

メニューボタンを  押してください。

<注意>

停止後の動作時間を設定する場合は床材を確認し設定してください。(初期設定：1秒)

◀ Turbine ▶



< Turbine >

サクションタービン作動時間の変更

メニューボタンを  回し時間設定を行ってください。

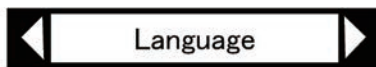
0～10秒の範囲で調整が行えます。

メニューボタンを  押してください。

<注意>

停止後の動作時間を短くした場合
サクションホース・スクイジーから汚水が垂れます。
(初期設定：6秒)

表示言語の設定

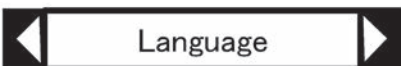


< Language >
表示言語を設定します。

メニューボタンを 回し

Language を選んでください。

メニューボタンを 押してください。



- Deutsch
- English
- Francais
- Espanol
- Russkii
- Italiano
- Portuaues
- Norsk
- Svenska
- Dansk
- Suomi
- Polski
- Magyar
- Romana
- Cestina
- Tuerkse
- Ellinika

- ドイツ語
- 英語
- フランス語
- スペイン語
- ロシア語
- イタリア語
- ポルトガル語
- ノルウェー語
- スウェーデン語
- デンマーク語
- フィンランド語
- ポーランド語
- ハンガリー語
- ラテン語
- チェコ語
- トルコ語
- ギリシャ語

表示言語を設定します。

メニューボタンを 回し

English を選んでください。

メニューボタンを 押してください。



自動リセットが行われます。

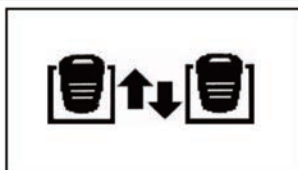
イエロー KIK キーの設定変更



< Key Manager >
イエロー KIK キーで操作できる範囲を設定します。

メニューボタンを 回し Key Manager を選んでください。

メニューボタンを 押ししてください。



グレーキー抜きイエローキーを挿入してください。



イエロー KIK キーを認識しない場合はエラーが表示されます。



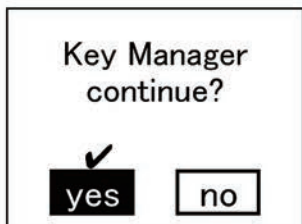
- Access
- Language
- Working Speed
- Brush Speed
- Suction
- Side Brush
- Brush Pressure
- Water Amount
- Detergent Dosing
- Flashing Beacon
- Horn
- Spray Suction
- Tank Rinsing
- Save?
- Quit Menu?

- イエローキーの認識
- 言語
- 作業スピード
- ブラシ回転数
- サクシオンタービン負荷
- サイドブラシ (OP)
- ブラシ面圧
- 水量
- 洗浄剤添加量
- 回転灯 (OP)
- 前進アラーム
- Puzziアクセサリー (OP)
- 汚水タンク洗浄ユニット (OP)
- 記憶
- メニューから出る

作業者に操作をさせたい項目にチェックを入れてください。

メニューボタンを 回し項目を選んでください。

メニューボタンを 押し を入れてください。
再度押すと が消えます。



< Save? >
変更項目を記憶します。

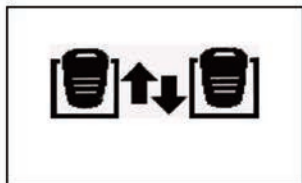
メニューボタンを  回し Save? を選んでください。

メニューボタンを  押してください。

メニューボタンを  回し yes を選んでください。

メニューボタンを  押してください。

イエローキーを複数お持ちの場合
全てのKIK キーを変更する必要が有ります。



新しいイエローキーを挿入してください。
Save? 作業を繰り返してください。



更項目を記憶しない場合

メニューボタンを  回し no を選んでください。

メニューボタンを  押してください。

電源が切れます。



初期設定の変更



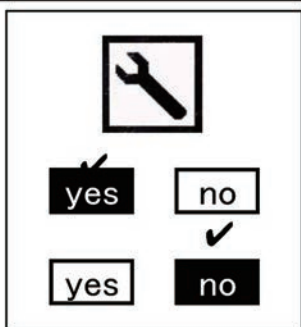
< Factory Settings >

初期設定されます。
個別変更設定が全て基に戻ります。
Factory Settings を行う前に設定を記録してください。

初期化手順

メニューボタンを 回し Factory Settings を選んでください。

メニューボタンを ↓ 押してください。

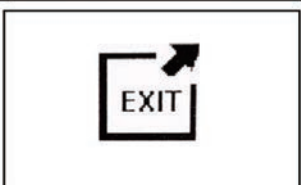


メニューボタンを 回し

Yes / No を選んでください。

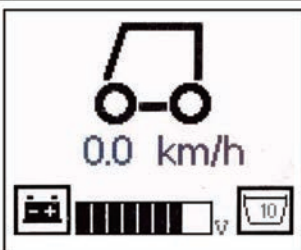
メニューボタンを ↓ 押してください。

Yes 初期か実施
No キャンセル



Quit Menu? が表示されます。

メニューボタンを ↓ 押してください。



初期画へ移動します。

メンテナンス

機械の作業を始める前に、K I Kキーを外し、バッテリー充電プラグを外してください。
バッテリーのプラグを抜いてください。
汚水タンク、清水タンクからそれぞれ汚水、清水を排出してください。

吸引モーターはスイッチを停止してから10秒間作動します。
必ず吸引モーターが完全に停止してから作業を行ってください。

水平な路面でメンテナンス作業を行ってください。

●日常メンテナンス

タイヤの外傷（割れ・摩耗）を確認してください。

バッテリー外観に変形がないか確認してください。
バッテリー比重を確認してください。
必要に応じ充電してください。

全ての可動部位を確認してください。
フィルターに損傷が無いか確認してください。
サイドブラシ、メインブラシに磨耗やひも等の絡みつきがないか確認してください。
スクイージーゴム、汚水タンクの蓋のシールの損傷を目視確認してください。
摩耗、切れ等の無いことを確認してください。必要に応じ交換してください。
ブラシが摩耗していか確認してください。

ボディが汚れている場合は、ぬれた布で本体を拭いてください。
機械本体に水をかけて洗浄したり、強い洗浄剤を使用しないでください。

汚水を排水してください。
吸引モーターのフィルターを清掃してください。
プレスタイプのコンテナを清掃してください（ローラータイプの場合）。

●週間メンテナンス

ワイヤーケーブルと可動部品を確認してください。
シール部分に磨耗がないか確認してください。
表示ランプやスイッチなどが正常に作動しているか確認してください。

●月毎メンテナンス

バッテリーを点検し、端子に腐食が見られる場合はブラシでこすり取り除いてください。
バッテリーケーブルがしっかり固定されていることを確認してください。
バッテリーの比重を点検し、必要に応じバッテリー液を補充してください。
ブラシハウジングを清掃してください（ローラータイプの場合）。
洗浄液ストリップを洗浄ユニットから外し清掃してください（ローラータイプの場合）。

● 100 作業時間毎

各種ベルトの貼り具合を確認してください。
メインブラシが摩耗していないか確認してください。
サイドブラシが摩耗していないか確認してください。

●毎年のメンテナンス

安心して清掃作業を行う為に、ケルヒャーの定期点検をお申込み下さい。

メンテナンス作業一例

吸引フィルターの清掃
スクイージーの交換、調節
ブラシの交換（ローラー、ディスク）
サイドスカート交換

凍結の防止

清水および汚水タンクから完全に排水して下さい。
凍結しない室内に保管して下さい。

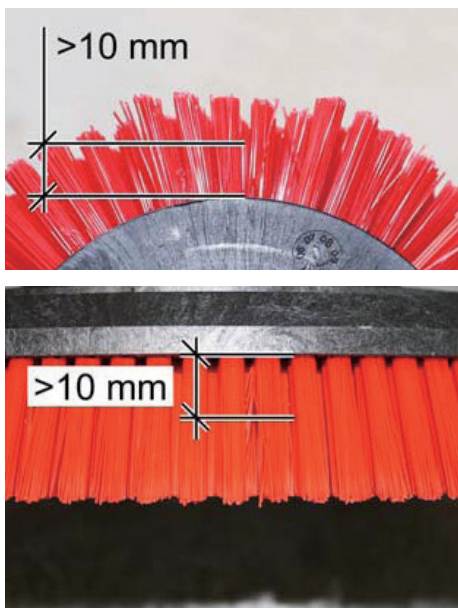
機械の保管

機械を保管する場合、機械の重量に十分注意して下さい。
この機械は必ず屋内に保管して下さい。
機械の重量で影響が無い場所に保管して下さい。

- KIK キーを抜いてください。
- ホイールに輪止めをして機械を停止し保管してください。
- 必要に応じ充電してください。

<充電>

- バッテリー残量表示が1～3になったら充電してください。
- バッテリー残量表示がなくなると、走行だけ可能な状態となります。
- この時、メインスイッチを切った後充電しないで機械を使用するとバッテリーが損傷します。充電表示が消えた後の再使用は避けてください。



ブラシの摩耗状態確認

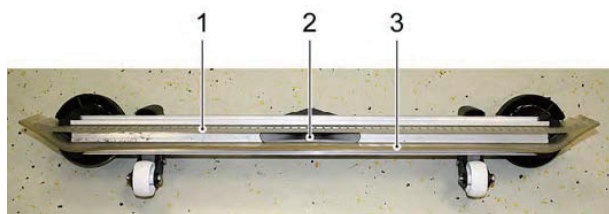
ブラシにゴミが絡まっている場合は取り除いてください。
汚れがひどく付着している場合は洗い流してください。

ローラーブラシ、ディスクブラシ共に、ブラシの毛の長さが 10mm 以下になったら新しいブラシに交換してください。



サイドスカートゴムの摩耗状態確認

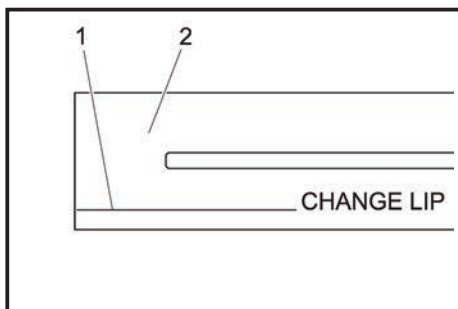
高さを調整しても吸い残しが出る場合や、ゴムが破損している場合は新しいゴムに交換してください。



スクイジューの摩耗状態確認

吸引口にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。
スクイジューゴムに汚れが付着している場合は取り除いてください。

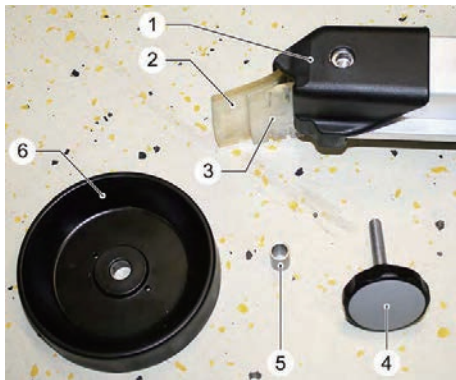
- 1 スクイジューゴム (前)
- 2 吸引口
- 3 スクイジューゴム (後)



スクイジューゴムは上下を入れ替えて使用可能ですが、スクイジューゴム (後) の上下ともに「CHANGE LIP」の線まで摩耗した場合は新しいスクイジューゴムに交換してください。

- 1 交換目安の線 (「CHANGE LIP」)
- 2 スクイジューゴム (後)

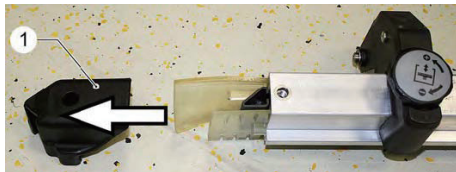
スクイジューゴムが破損した場合も新しいスクイジューゴムに交換してください。



スクイジーゴムの上下入れ替え・交換方法

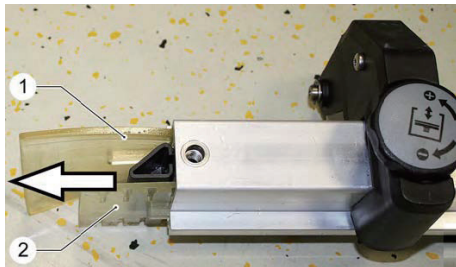
固定スクリューを取外してください。

- 1 カバー
- 2 スクイジー（後）
- 3 スクイジー（前）
- 4 固定スクリュー
- 5 スリーブ
- 6 ガイドローラー

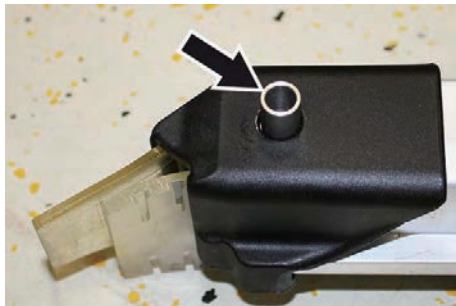


両サイドのカバーを引き抜いてください。

- 1 カバー



前後のスクイジーゴムを引き抜き、上下を入れ替えるまたは新しいスクイジーゴムを挿入してください。



両端のスクイジーの突出し量を同じにしてください。

カバーを取り付けスリーブを挿入してください。

ガイドローラーを載せ固定スクリューで固定してください。



注意

メンテナンスを実施する場合は必ずスイッチを切り電源プラグを抜くこと

本体のお手入れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をかたく絞って拭いてください。その後乾いた柔らかい布で洗剤が残らないように拭き取ってください。ガソリン、シンナー、ベンジン、殺虫剤、調髪用スプレーなどは劣化変質の原因となります。

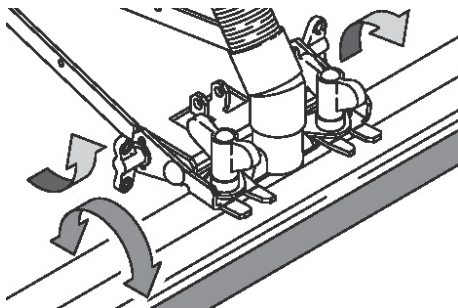
吸引口フィルターの清掃

上部カバーを開け、吸引口フィルターを取り外し、ゴミを取り除き元の状態に戻してください。

汚水タンクと吸引ホースの洗浄

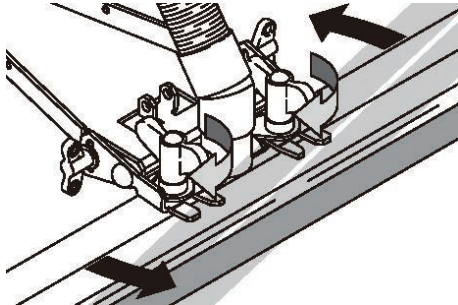
汚水タンク内が汚れている場合は水道水でタンク内部を洗浄後乾かしてください。

吸引ホースの中も水道水ですすいでください。

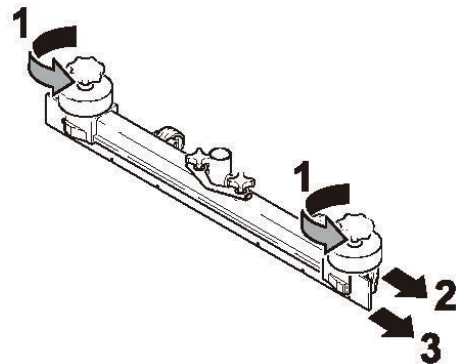


<スクイジー>

取り残しが生じる場合は吸引ノズルの傾きを調整してください。



スクイジーの進行方向に対する傾きを調節してください。目地の有る床を洗浄する場合は傾けて取り付けます。スクイジーの撥ね上りを抑制することができます。



<吸い込みが悪い場合>

スクイジーゴムの劣化、損傷が生じています。

スクイジーは上下4面が使用できます。

- 1 スクリュー（1）を取り外します。
- 2 両サイドのプロテクター（2）を抜き取ります。
- 3 スクイジーゴムを引き抜いてください。
- 4 スクイジーのスクイジーゴム挿入部位のゴミを取り除いてください。
- 5 スクイジーゴムの挿入部に石鹼水にぬり滑りを良くした状態でスクイジーゴムを取り付けてください。
- 6 プロテクター（2）を両側に取り付けてください。
- 7 スクリュー（1）で固定してください。
- 8 本体に取り付けてください。



＜タンクの排水＞

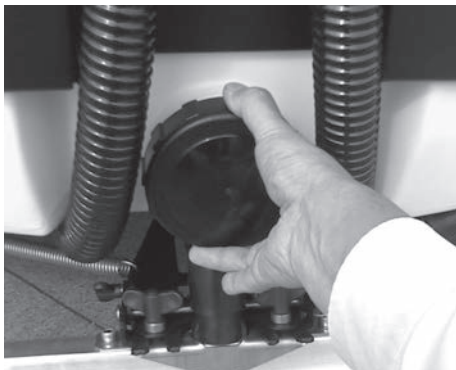
排水ホースを取り外し排水溝に汚水が流れるように設置してください。

排水ホースの先のカバーを開け、ホースの先端を押して排水量を調節しながら汚水を排水してください。



排水ホースをホルダーに戻してください。

排水ホース先端のキャップが確実に塞がれていること確認してください。



＜汚水タンクの洗浄＞

汚水タンクに汚泥が堆積している場合
汚泥を処理できる場所へ移動してください。
排水口を開けてください。



流水ですすいでください。

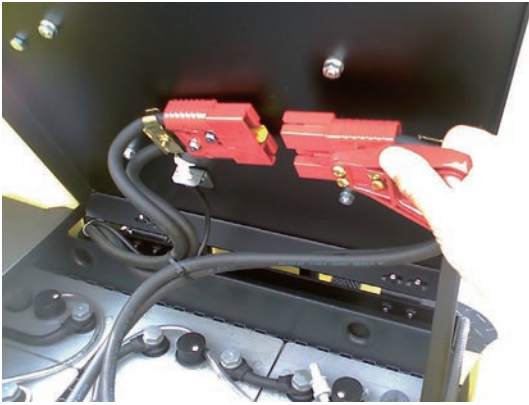


汚水、汚泥は各地方自治体の規定に従って処理してください。



＜充電＞

キースイッチを抜いてください。
シートを持ち上げバッテリーコネクタを引き抜いてください。



コネクタを引き抜いてください。

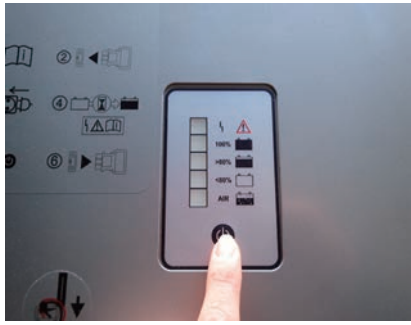


充電器を用意し電源へ接続してください。

電源ランプが点灯した場合は電源プラグを抜いてください。



充電器側のコネクタとバッテリー側コネクタを
しっかり接続してください。



スイッチを入れてください。
充電ランプが点灯します。
充電異常ランプが点灯した場合

接続プラグの状態を確認してください。

満充電まで約 10 時間～12 時間必要です。

満充電完了後 自動停止します。



スイッチを切った後
充電器側接続プラグとバッテリー側接続プラグを
取り外してください。



バッテリー側接続プラグを本体側接続プラグに
取り付けてください。



充電前、終了後に補水を毎回行なうこと
補水を怠った場合バッテリーの寿命が著しく低下します。

トラブル対応

機械の作業を始める前に、K I Kキーを外し、バッテリー充電プラグを外して下さい。
バッテリーのプラグを抜いて下さい。
汚水タンク、清水タンクからそれぞれ汚水、清水を排出して下さい。
吸引モーターはスイッチを停止してから10秒間作動します。必ず吸引モーターが完全に停止してから作業を行って下さい。

エラーの文字表示

ディスプレイのエラー表示を確認し、対応する対策を行ってください。
メニューボタンを押し、エラー内容を確認して下さい。

エラーの数字表示

プログラムスイッチをOFFの位置にします。
ディスプレイの表示が消えるまで待ちます。
プログラムスイッチを以前の位置に動かします。

もしエラーが解消しない場合

このエラーは作業では修理できないことを示しています。
ケルヒャーサービスフロントに御連絡をお願いします。

<注意>

制御基盤のトラブルが発生した場合は直ちにサービスフロントへ修理を依頼してください。
お客様ご自身で万一触られた場合、
制御基盤のショート・静電気による帯電が生じ修復が難しくなります。

本体のディスプレイに表示されるエラーメッセージと対策

ディスプレイ表示	原因	対策
Seat switch open!	シートスイッチがOFF	⇒ アクセルペダルを踏んでいる場合はアクセルペダルを戻してください。 ⇒ シートにしっかり座ってください。
Release accelerator!	アクセルペダルが踏まれた状態でメインスイッチが入った	⇒ アクセルペダルを一旦戻してから再度踏んでください。
No direction of travel!	走行切替スイッチ不良または接続ケーブル不良	⇒ 走行切替スイッチを確認してください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Battery discharged!	バッテリー電圧低下	⇒ バッテリーを充電してください。
Battery voltage inadmissible!	バッテリー電圧異常	⇒ ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Charger defective!	充電器の不具合	⇒ 充電器に異常が無いか確認してください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Fresh water tank empty!	清水タンクに水が入っていない	⇒ 清水タンクに清水を補充してください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Waste water tank full!	汚水タンクが満水	⇒ 汚水タンク内の汚水を排水してください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
	レベルセンサーの不良	⇒ ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Brush pressure not reached!	一定時間内にブラシ面圧が制御できなかった	⇒ ブラシが摩耗している場合は交換してください。 ⇒ ブラシヘッドが昇降するか確認してください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Brake defective!	ブレーキの不具合	⇒ 直ちに使用を中止してください。 ⇒ ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Propulsion motor hot! Allow to cool down!	モーター保護機能の作動	⇒ メインスイッチを切ってください。 ⇒ 少なくとも15分経たないうちに本体の電源を入れしないでください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Horn defective!	ホーンの不具合	⇒ ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Control is hot! Allow to cool down!	電気系統のオーバーヒート	⇒ メインスイッチを切ってください。 ⇒ 少なくとも5分経たないうちに本体の電源を入れしないでください。 ⇒ ブラシ面圧値を低く設定してください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Brush motors overloaded!	ブラシ荷重が偏っている	⇒ ブラシの接地状態が前後左右で偏りが無いか確認、調整してください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。

本体のディスプレイに表示されないトラブルと対策

問題	想定される原因	対策
本体が動かない	シートスイッチがOFF	⇒ シートにしっかり座ってください。
	メインスイッチが入っていない	⇒ メインスイッチを入れてください。
	制御装置の誤認識	⇒ プログラムスイッチのダイヤルを“OFF”に合わせて10秒待ってから、元のモードにダイヤルを戻してください。可能であれば本体を平坦な床面で走行させてください。ブレーキを確認してください。
	バッテリーが充電されていない	⇒ バッテリーを充電してください。
	バッテリーの寿命	⇒ バッテリーを交換してください。
	メインスイッチを入れた時にアクセルペダルが踏まれていた	⇒ アクセルペダルが完全に戻っている状態でメインスイッチを入れてください。
洗浄水が十分に出ない	清水の量が不足している	⇒ 清水タンクに清水を給水してください。
	ホースに異物が詰まっている	⇒ 異物を取り除いてください。
	(ローラータイプの場合のみ)ヘッドの洗浄水吐出口が詰まっている	⇒ 洗浄水吐出口を取り外し、清掃して詰まりを取り除いてください。
	清水フィルターが詰まっている	⇒ 清水フィルターを清掃して詰まりを取り除いてください。
汚水が十分に吸引されない	汚水タンクカバーがしっかり閉まっていない	⇒ 汚水タンクカバーがしっかり閉まっているか確認してください。 ⇒ 汚水タンクカバー内側のシールが変形、破損している場合は交換してください。
	が詰まっている	⇒ フィルターを清掃して詰まりを取り除いてください。
	スクイジーゴムが摩耗している	⇒ スクイジーゴムを上下入れ替えるか、新しいスクイジーゴムに交換してください。
	汚水排水ホースのキャップが閉まっていない	⇒ 汚水排水ホースのキャップをしっかりと閉めてください。
	吸引ホースに異物が詰まっている	⇒ 異物を取り除いてください。
	吸引ホースが緩んでいる	⇒ スクイジーの吸引口にしっかり差し込んでください。
	スクイジーの調整が不十分	⇒ スクイジーの角度や高さを調整してください。
洗浄結果が良くない	面圧が適切でない	⇒ 面圧を調整してください。
	スクイジーの調整が不十分	⇒ スクイジーの角度や高さを調整してください。
	ブラシまたはパッドが摩耗している	⇒ 摩耗している場合は交換してください。
ブラシまたはパッドが回転しない	面圧が高い	⇒ 面圧を低く調整してください。
	異物が絡まったり挟まったりしている	⇒ 異物を取り除いてください。
	ブラシモーターのオーバーヒート	⇒ モーターが過熱している場合は冷めるまで時間をおいてください。プログラムスイッチのダイヤルを“OFF”に合わせて10秒待ってから、元のモードにダイヤルを戻してください。
汚水排水ホースから汚水が十分に排水されない	汚水排水ホースに異物が詰まっている	⇒ 汚水排水ホースのキャップを開けてください。吸引ホースをスクイジーから取り外してください。プログラムスイッチのダイヤルを吸引モードに合わせ、吸引ホースの吸引口をふさいでください。汚水排水ホースに詰まっていた異物が汚水タンクに入ります。
DOSEシステムが作動しない	DOSEシステムの不具合	⇒ ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。

お問い合わせ先

<業務用製品コールセンター>

業務用製品の故障、修理についてのお問い合わせは、ケルヒャー業務用製品コールセンターへご連絡ください。

受付時間：月～金 AM9：00～PM5：00
(祝祭日、当社休日を除く)

TEL：045-777-7410

FAX：045-438-1320

ユーザー登録・保証

ユーザー登録をお願い致します。ケルヒャー ジャパン株式会社では、十分なアフターサービスを提供するために、当社業務用製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。



<ユーザー登録いただいたお客様限定>

ご購入日から1年間の保証期間を
ご購入から2年間に延長いたします。

そのほか、お得なキャンペーンや新製品のご案内をお送りします。ぜひご登録ください。

<ユーザー登録方法>

ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトからご登録ください。

URL : https://www.kaercher.com/jp/services/support_pro/registry.html

- ご購入から30日以内にご登録ください。
- ご登録には製品名とシリアルナンバー（製造番号）が必要です。
2台以上ご購入いただいた場合も1台ずつご登録ください。

<保証>

保証規定については、同梱の保証書をご確認ください。

弊社 Web サイトで最新の情報を入手頂き、お問い合わせください。

<お問い合わせ先>

ケルヒャー ジャパン株式会社 業務用製品コールセンター

TEL : 045-777-7410

登録情報について

お客様にご登録いただいた個人情報は第三者に提供することはありません。

尚、ユーザー登録情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

当社の個人情報保護の取り組みについては

<https://www.kaercher.com/jp/corporate/profile/privacy.html> でご覧いただけます。

修理

修理のご用命は弊社ホームページをご覧ください、
申し込みフォームからご依頼ください。

https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/repair_menu.html

この取扱説明書の製品は、「中・大型機」になります。
弊社支店への持ち込み修理と出張修理サービスが対象です。
※修理費用については予告なしに変更する事があります

お電話での修理のお問い合わせは

業務用製品コールセンター（修理受付）

受付時間 9：00～17：00

月曜日～金曜日（祝日、当社休日を除く）

TEL：045-777-7410

補修部品

品名	仕様	注文番号	必要個数
白ブラシ	ソフト	6.906-855.0	2
赤ブラシ	標準	6.906-853.0	2
オレンジブラシ	凸凹用	6.906-854.0	2
黒ブラシ	ハード	6.906-856.0	2
サイドスクイジー		5.036-713.0	2
スクイジー耐油ゴム	ブラウン 前後2枚	6.273-210.0	1
スクイジー引き筋防止耐油ゴム	ブラウン 前後2枚	6.273-216.0	1
吸引ホース	耐油	6.391-594.0	1